

有限責任中間法人 日本 IC カードシステム利用促進協議会 設立趣意書

IC カードシステム利用促進協議会（JICSAP）は、平成 5 年 3 月に 24 会員をもって任意団体として発足し、以来標準化活動では IC カードの JIS 原案作成や汎用的な業界標準と位置づけられる JICSAP IC カード仕様の制定と開示等に取り組んできました。

また、普及・啓発関係では各種の提言や欧州を中心とする IC カード市場の継続訪問調査と報告書の頒布・報告会の開催、JICSAP WEB による情報発信等の活動を進めてきました。

JICSAP IC カード仕様の開示や、欧州市場動向調査活動などを通しての情報発信や情報の共有化は、IC カードをベースとしたカード社会の創造に些かの貢献をしてきたものと自負しています。

さて、これまでの活動により当協議会の認知度もそれなりに高まりつつあり、さらなる飛躍が望まれるところとなっています。

このため、当協議会は平成 15 年 3 月に 10 周年の節目を迎えることから、内外の期待に応えて行くため現組織を発展的に解散し、有限責任中間法人「日本 IC カードシステム利用促進協議会」を設立することにいたしました。

もとより、法人化によって直ちに事業内容が大きく変わるわけではありませんが、少なくともより社会的に貢献し得る事業展開に向け、間口、機会を広げておきたいとするものであります。